

★戦時中の学校はどんな様子だったの？ 防空壕(ぼうくうこう)を作る生徒たち

下の写真は、勤労奉仕(きんろうほうし)で防空壕をつくる高等科の生徒たちです。「防空壕」とは、アメリカ軍の空からこうげきから身を守るためのひなん用の穴(あな)のことです。「高等科」とは、昭和16年に国が作った「国民学校令」という法律にもとづき、学校が「園田第三国民学校」という名前に変わるとともに作られたものです。

- 昭和11.4
園田第三尋常小学校
- 昭和13.4
園田第三尋常高等小学校
- 昭和16.4
園田第三国民学校
- 昭和22.3
尼崎市立園田第三国民学校
- 昭和22.4
尼崎市立上坂部小学校

1907年(明治40年) 小学校令一部改正	1941年(昭和16年) 国民学校令	1947年(昭和22年) 学制改革(現在の学校)
尋常小学校1年	国民学校初等科1年	小学校1年
尋常小学校2年	国民学校初等科2年	小学校2年
尋常小学校3年	国民学校初等科3年	小学校3年
尋常小学校4年	国民学校初等科4年	小学校4年
尋常小学校5年	国民学校初等科5年	小学校5年
尋常小学校6年	国民学校初等科6年	小学校6年
高等小学校1年	国民学校高等科1年	中学校1年
高等小学校2年	国民学校高等科2年	中学校2年



写真のすぐ前に防空壕があります。夜間に空襲警報(くうしゅうけいほう)が鳴るたびに、校区に住む先生、宿直の先生が「御真影」(ごしんえい=天皇の写真)をかかえて、ここに逃げこみました。近所の人たちも近くの防空壕にひなんしましたが、この穴の中で出産した人もいます。前列左は、三代目校長の長谷川壽一先生であることから、昭和17年前後の写真と見受けられます。